



大槻の記

郡山市立大槻小学校

学校だより NO. 7号

令和5年7月7日

発行者：校長 坂牧広文

大槻中学校区小中連携協議会が行われました。

6月27日（火）大槻中学校を会場に小中連携協議会が行われました。コロナ禍のために3年間実施ができなかったですが、今年度再開できることになりました。

最初に、この春小学校を卒業した中学校1年生の授業を参観させていただきました。1年1組が社会科、2組が英語科、3組が国語科、4組が数学科の授業でした。どのクラスの生徒達も熱心に学習に取り組んでいる姿が見られとても嬉しかったです。

授業の後は、学習指導、生徒指導について4つのグループに分かれて分科会を行いました。それぞれのテーマは①「学習指導の小中連携について」②「自ら学習にむかう態度を育む学習指導のあり方について」③「生徒指導の小中連携について」④「情報教育のあり方について」でした。当日の授業参観の様子なども交えながら、小学校、中学校それぞれで取り組んでいること、共通していきたいこと、先生方の考え等を話し合うことができました。短い時間でしたがとても有意義な話し合いになっていました。

11月には大槻小学校を会場にして、第2回の小中連携協議会を開催することになっています。来年度中学生になる6年生を中心に参観していただく予定です。



自分の命を守るために

7月4日（火）に福島県警察スクールサポーターの高橋さんをお招きして防犯教室を行いました。最初に不審者が校内に侵入したという想定で、学校にいる場合の対応の仕方を学習しました。次に、体育館に集合し学校の外で不審者に遭遇したときにはどうしたらいいのかを代表児童による実演を見ながら学びました。郡山市内の不審者事案は、昨年度は19件でしたが、今年度は1月～6月までですでに31件発生しているそうです。一人でいる人が狙われやすいので、外で遊ぶときはできるだけ複数で行動し「いかのおすし」で自分の身を守りましょう。

